

Operation Manual

取扱説明書

アシストカー
(ラフィングジブ分解・組立用)

オールテレーンクレーン

AR-4000M

AR-5500M

適用製造番号：450401 ～ (AR-4000M-1)
GD5001 ～ (AR-5500M-1)

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

▲ 定期的に点検・整備を行う

点検・整備をおろそかにすると、故障の早期発見ができないため思わぬ事故の原因になります。定められた時期に点検・整備を実施して、故障の予防や早期発見に努めてください。

異常が見つかった場合は責任者に報告し、直ちに整備してください。

▲ 理解してから点検・整備

誤った点検・整備は機械の損傷を招くだけでなく、人身事故の原因となります。

点検・整備を行うときは、取扱説明書の「点検・整備編」を読み、点検・整備方法を十分に理解しておいてください。理解するまでは作業を行わないでください。

▲ 点検・整備が難しい場合は

難しい点検・整備や油圧機器の整備を無理に行うと、機械の損傷だけでなく、人身事故の原因となります。

点検・整備の内容が難しいと思われる場合は、最寄りの当社指定サービス工場に依頼してください。

▲ 換気に注意

屋内や換気の条件が悪い場所での作業は、ガス中毒の危険性があります。エンジンの排気ガスや、燃料・洗浄油・塗料などを扱うときは注意してください。

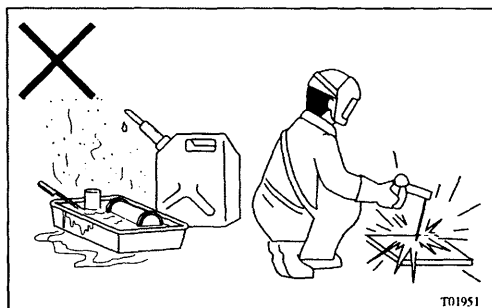
特に、屋内でエンジンを始動するときは、適切な換気をしてください。排気管を屋外に延長させ、ドアや窓を開けて外気が十分入るようにしてください。必要に応じて換気扇を設置してください。

▲ 火災防止

点検・整備時は燃料・バッテリーなど引火する危険物を扱います。

火災防止のため、下記のことを厳守してください。

- 部品などの洗浄には、不燃性の洗浄液を使用してください。
- 油脂類は、火気から離して貯蔵してください。
- タバコを吸わないでください。引火の恐れのある火気は消してください。
- 消火器などの消火用具を用意してください。
- 燃料・油脂・バッテリー液などを点検するときは、防爆タイプの照明器具を使用してください。
- グラインダ作業や溶接作業は特に危険物を遠ざけ、火災に注意してください。



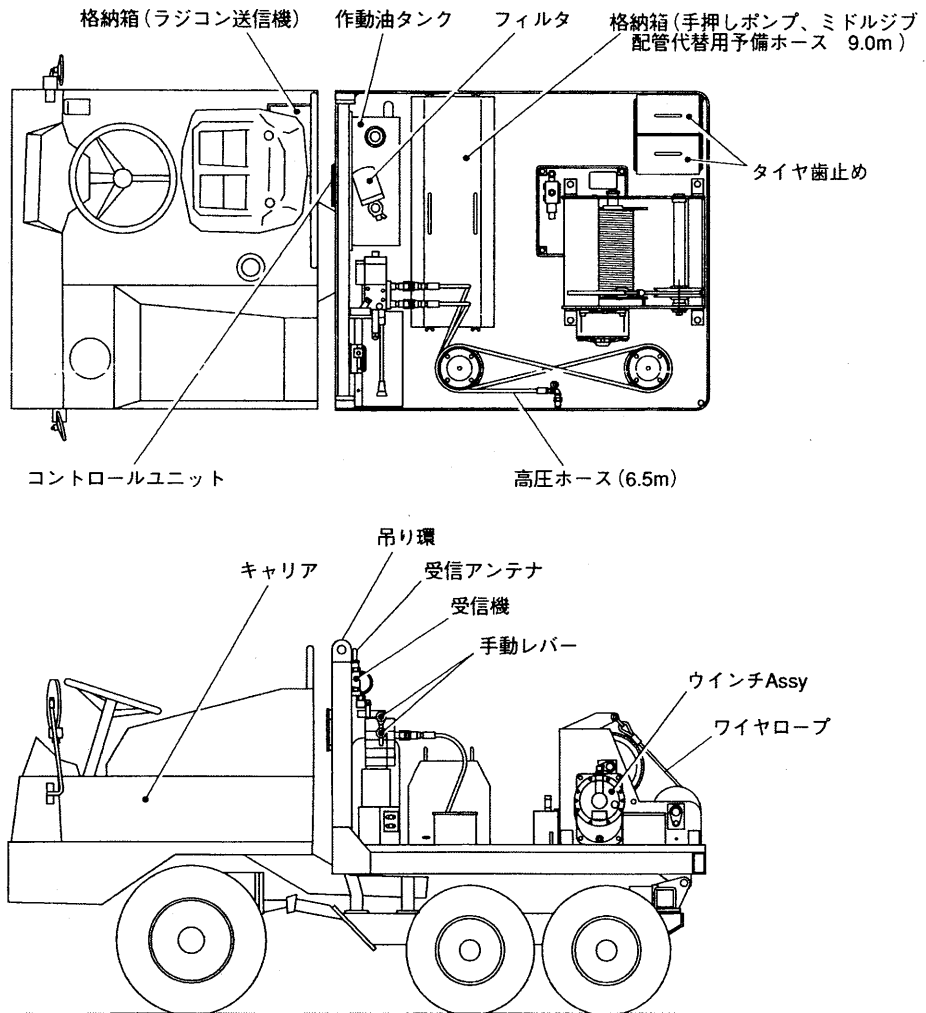
▲ 照明の取扱い

照明が不十分な状態で作業を行うと、けがをする危険性があります。作業前に十分な照明を準備してください。

マッチやライターなどの火気を照明の代わりにしないでください。火災やバッテリーのガスに引火して爆発する危険性があります。燃料やバッテリー液を点検するときは、防爆タイプの照明器具を使用してください。

各部の名称

本書の中に用いられている用語で前・後・左・右とはキャリア運転席に座った位置から見た方向をいいます。



M33003J-1

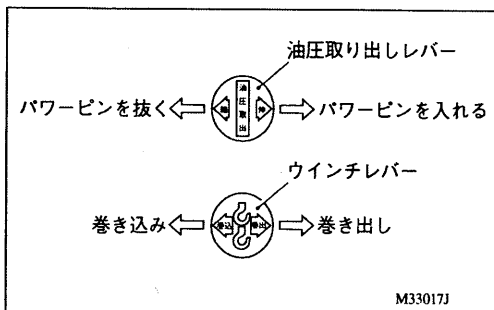
操作上の注意

- ◆ワイヤロープの乱巻を防ぐために、ウインチ巻出し操作時は必ずワイヤロープの先端を手で引っ張りながら巻出してください。
ワイヤロープが乱巻したままワイヤロープを巻き込むと、ワイヤロープの寿命を縮めるだけでなく、ロープ切断事故の原因になります。
- ◆ワイヤロープをウインチドラムから全て巻出さないでください。ウインチドラム上には、ワイヤロープを常に3巻以上残しておいてください。
- ◆油圧取り出し用の油圧ホースは確実に接続してください。また、ホースを外したときは水、ごみなどが入らないように確実にキャップをしてください。

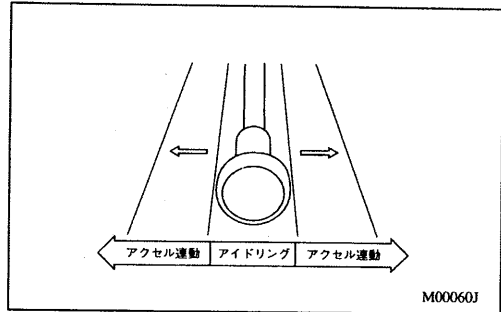
動かしかた

ウインチレバーと油圧取り出しレバーを操作して行います。

- (1) 油圧取り出しの伸び (パワーピンを入れる)
油圧取り出しレバーを「伸」側に動かす。
- (2) 油圧取り出しの縮小 (パワーピンを抜く)
油圧取り出しレバーを「縮」側に動かす
- (3) ウインチ巻出し
ウインチレバーを「巻出」側に動かす。
- (4) ウインチ巻き込み
ウインチレバーを「巻込」側に動かす。
- (5) 停止
レバーを中立位置に戻す。



- ◆各操作レバーにはアクセル機能を連動させています。操作レバーの操作量が大きくなるに従ってエンジン回転数も上昇します。



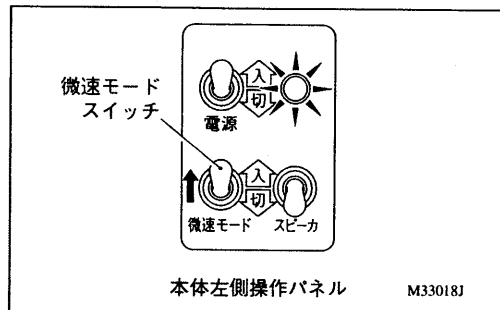
微速モードでの操作

微速モードにすると、各操作レバーの操作量を多くしてもエンジン回転数は上昇しません。ゆっくりした速度で動かしたいときや、夜間の騒音が問題になる場所での作業に使用してください。

微速モードの設定

本体左側操作パネルの微速モードスイッチを「入」にしてください。微速モードの状態になります。

- ◆本体左側操作パネルの微速モードスイッチは、手動操作のみを微速モードにするスイッチです。ラジコン操作は微速モードになりません。



点検・整備

適切な点検・整備は作業の安全性を確保し、機械の寿命を伸ばすことにつながります。機械の性能を十分に発揮させるために、定められた時期に点検・整備を実行して、故障の予防および早期発見に努めてください。

点検・整備の時期は稼働時間または期間のいずれか早いほうで実施してください。

◆点検時期は、通常の運転状態の場合を示しています。運転状態が過酷な場合は、間隔を短縮してください。

◆点検・整備の内容があなた自身でできないときは、最寄りの当社指定サービス工場で点検・整備を受けてください。

始業点検		始業前に行ってください。
定期点検・整備	100時間または 1カ月点検・整備	100時間または1カ 月毎に行ってください。
	250時間または 3カ月点検・整備	250時間または3カ 月毎に行ってください。
	500時間または 6カ月点検・整備	500時間または6カ 月毎に行ってください。
	1000時間または 1年点検・整備	1000時間または1 年毎に行ってください。
	2000時間または 2年点検・整備	2000時間または2 年毎に行ってください。
	4000時間または 4年点検・整備	4000時間または4 年毎に行ってください。

ワイヤロープ

ワイヤロープの取扱い

▲ 注意

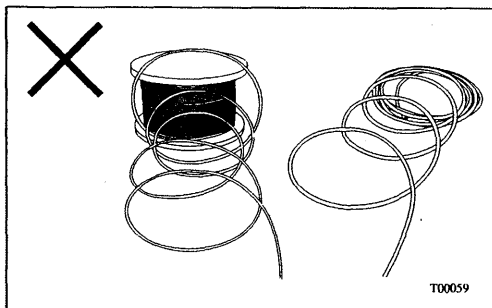
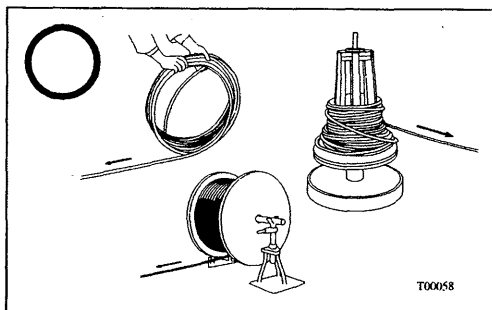
▲ ワイヤロープを素手で扱うと怪我をします。革手袋を使用して扱ってください。

ワイヤロープの取扱いには、十分注意を払ってください。ワイヤロープは、正しく取り扱えば、その寿命を最大限に伸ばして使用できます。しかし取扱いを誤ると使用不能の状態にしたり、早期廃棄の事態を招きます。正しく取り扱ってください。

ワイヤロープの解き方

ワイヤロープはコイル巻きか木枠に巻いてあります。ワイヤロープを解くときは、コイルを転がして伸ばすか、木枠が回転するようにして引き出してください。

もし誤った解き方をすると、ワイヤロープに撚りがかかったり、キンクを起こしたりして使用できなくなることがあります。また、撚りがひどくない場合でもワイヤロープの絡みつきの原因になります。



CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL